

**岡崎市総合計画説明会及び
岡崎市都市計画マスタープラン地域別説明会（東部地域） 議事要旨**

日時	令和２年２月２日(日)10:00～11:15
場所	むらさきかん（東部）第６活動室
参加者	83 名

１ 開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

２ あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

３ 各課説明

次期岡崎市総合計画に関する説明（企画課）

岡崎市都市計画マスタープラン（地域別構想まで）に関する説明（都市計画課）

４ 質疑応答

質問者 １

- ・額田地域についても、オンデマンドバス等の交通利便性の向上に向けた整備を実施していただきたい。また、広域観光交流拠点（アウトレットモール）周辺については、渋滞や自然環境の保全などに対して関心が高いため、現時点から予算を配分し周辺道路の整備を検討するとともに、自然環境については、十分に生態系等に配慮していただきたい。
- ・総合計画について、第６次総合計画では、東部地域に予算が割り当てられていないため、今後、具体的な施策・事業や予算を検討するにあたり、地域の課題を理解している方を委員に加え、より地域に寄り添った計画としていただきたい。
- ・岡崎東インターチェンジ周辺を拠点として位置付け、医療・介護・住まいといった地域包括ケアに関する施設の整備を行っていただきたい。
東部地域は、市内で最も災害に強いという特徴を生かし、旧額田地域と合わせて、住宅地整備などを推進していただきたい。

岡崎市

- ・アウトレットモール周辺については、市街化区域編入に向けて県と協議を進めるとともに、渋滞対策等について市及び道路管理者が愛知県警察及び事業者と協議を重ねているところである。
- ・総合計画の策定委員には、愛知産業大学の学長が参加している。また、額田地域についても岡崎東インターチェンジの活用などがたびたび議論されている。第７次総合計画は、30年後の市が目指す方向性を示す計画であり、渋滞対策などの具体的な施策・事業については個別計画で検討する。また、住宅地整備に

	ついては、災害に強いという特徴があることは市としても認識しており、この特徴に着目している民間事業者もあるため、個別計画で災害に強いまちとしての整備を検討していきたいと考えている。
質問者 1	・渋滞対策については、早期の実施は難しいと思うが、対策を検討していただきたい。また、本宿駅について、駅前広場の再開発や宿泊のニーズに対応するための施設の整備についても検討していただきたい。
質問者 2	・福祉に関する記載がないため、追加していただきたい。 防災における要介護者の避難について、各介護施設において人数をリアルタイムで把握し、緊急時に適切に対応できるといった体制の構築などを検討していただきたい。 ・本宿駅周辺には現在商店があまりないが、周辺には家康公とゆかりのある法蔵寺といった歴史的資源があるため交通利便性も生かし、家康公ゆかりの地を観光資源としている静岡県と連携することで、岡崎市の玄関口として賑わいを生み出せると思う。長期的なビジョンをもって整備を検討していただきたい。
岡崎市	・意見を参考に検討する。
質問者 3	・地域のまちづくりの課題の主要課題 4 について、藤川宿や東海道の松並木に対してのみ焦点を当てているように見えるため、家康公とゆかりのある歴史的地域資源の活用についても記載を追加していただきたい。
岡崎市	・意見を参考に検討する。
質問者 4	・地域の周辺では、少子高齢化に伴い農地や山の管理、空き家などの問題があり、土地を売却する人が増加することが考えられる。また、新東名インターチェンジの開通により、需要が増加することから、無秩序な開発が行われるのではないかと懸念があるため、既存集落の維持や自然環境の保全の観点から、市として方針を示していただきたい。
岡崎市	・近年、中心市街地においても空き地・空き家が増加している。農地や森林では、開発については都市計画法や森林法などにより制限があるため、市街地に比べ、無秩序な開発は行われにくい状況である。 ・岡崎市においても空き家対策取組んでいる。また、地域住民が主体となって、空き店舗に民間事業者を誘致するなどの活動がある。行政としては、空き家対策を検討するとともに、地域住民の活動に対して、今後も支援していきたいと考えている。
質問者 5	・東部地区工業団地には安城市に本社を置くアイシン・エイ・ダブリュ株式会社の工場があり、安城市方面からの交通量が多く、国道 1 号において渋滞が発生している。そのため、東部地区工業団地の在勤者のために社宅を整備することにより、渋滞が軽減されるのではないかと。 ・説明会を行うにあたり、イメージだけではなく模型などを作成し、より分かりやすい説明会にしていきたい。
岡崎市	・東部地域における一番大きな渋滞の問題としては、国道 1 号と県道生平幸田線

	の交差点の渋滞と認識しており、この場所については市議会議員の内田先生も地権者に直接掛け合っているが、地権者の方々の事情もあり整備が進んでいない現状がある。 ・東部地区工業団地の在勤者の社宅の整備については、アウトレットモールの整備に伴い住宅地を多く捻出したいと考えており、東部地区工業団地の在勤者の需要にも対応できるよう検討する。 ・説明会における模型の使用については、意見を参考に検討する。
質問者 6	・今後、市民意識調査の結果を活用し、具体的な計画等を検討していく予定はあるのか。
質問者 7	・パブリックコメントとは、具体的にどのようなことを行うのか。
岡崎市	・市民意識調査は 3 年に 1 度、無作為に選出した市民 5,000 人を対象に実施しており、今後、関係各課が策定する個別計画においても基礎資料として活用する。 ・パブリックコメントとは、都市計画マスタープランでいえば、市の都市計画課の窓口やホームページ上に計画案を 1 か月間公表し、意見、要望などを求める意見公募手続の事であり、いただいた意見に対しては市のホームページ上に回答及びその理由を公表する。また、パブリックコメントの公表時期については、広報（市政だより）により周知する。

5 閉会のあいさつ

岡崎市企画課 岡田課長から挨拶

以上